



令和6年度 学校評価中間報告

令和6年11月2日(土)15:25~

スクールミッション

「自由・闊達・明朗・真摯・清新」の校風のもと、しなやかな心と成長への意志を持ち、理想とする未来を創造し社会に貢献する人材を育成する。

人文科学・自然科学コースを有する高校として、専門性とともに分野横断の「総合知」を身につけたリーダーを育成する。

学校経営計画に対する中間評価

今年度の重点目標

生徒の可能性を引き出すために、

STEAM教育の実現をめざして

モデル校として研究開発をテコに本校教育活動の見直し

Science (科学)

Technology (技術)

Engineering (工学)

Liberal **A**rts (リベラル・アーツ)

Mathematics (数学)

- ・文理の枠を超えた教科横断的な視点
- ・スクールポリシーに基づく資質・能力の育成
- ・実社会の課題を扱う探究活動

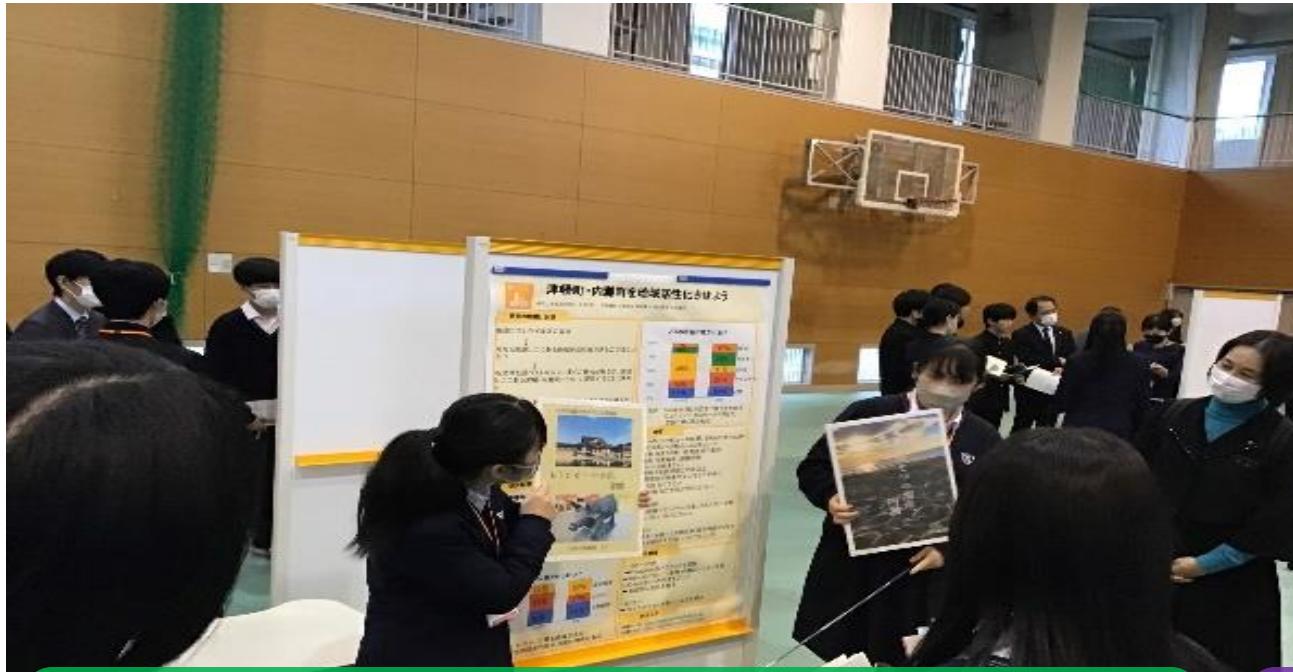
+ DXハイスクール指定

Digital Transformation

新しい教育への取組

STEAMフォーラム 課題研究発表

教科横断型授業



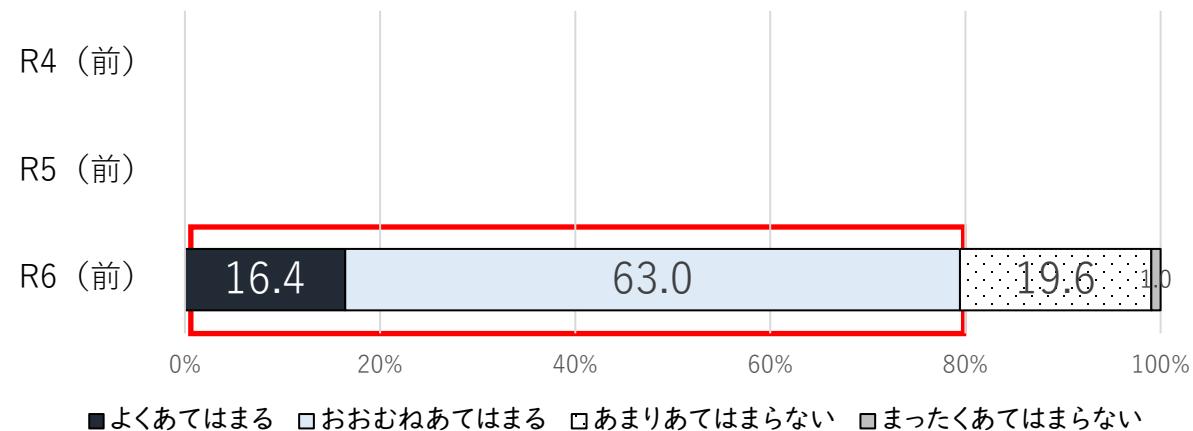
研究成果のプレゼンテーション

協働的な学び／ICT活用

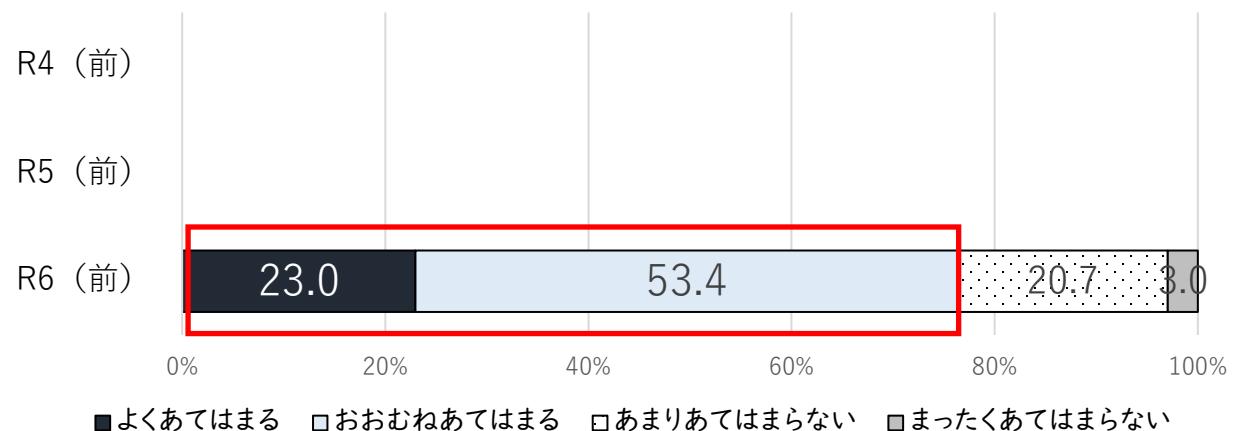
(1)学習指導 :

データやデジタル技術を活用して、
グローバル社会で求められる資質・能力を育成する。

論理的思考のためのデータ活用力



デジタル教材・ツールの有効活用



論理的思考のためのデータ活用力

79.4% 【達成度C】

→今後、授業や探究活動の中で意識して取り組む必要(余地)

デジタル教材・ツールの有効活用

76.4%

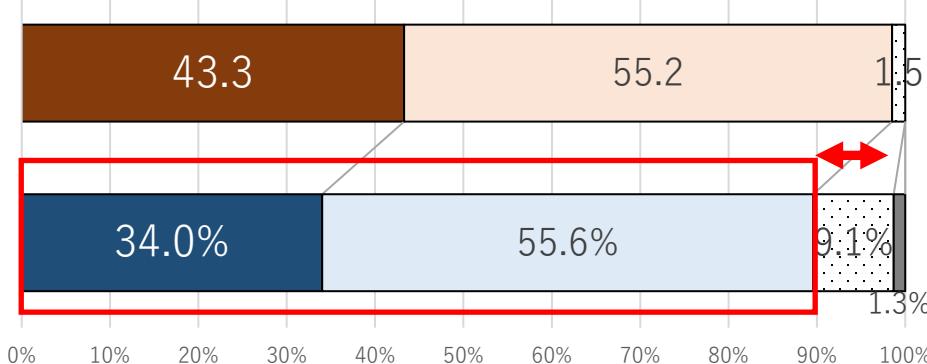
(1)学習指導 :

データやデジタル技術を活用して、
グローバル社会で求められる資質・能力を育成する。

主体的行動力

教員(R6前期)

生徒(R6前期)



■よくあてはまる ■あてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

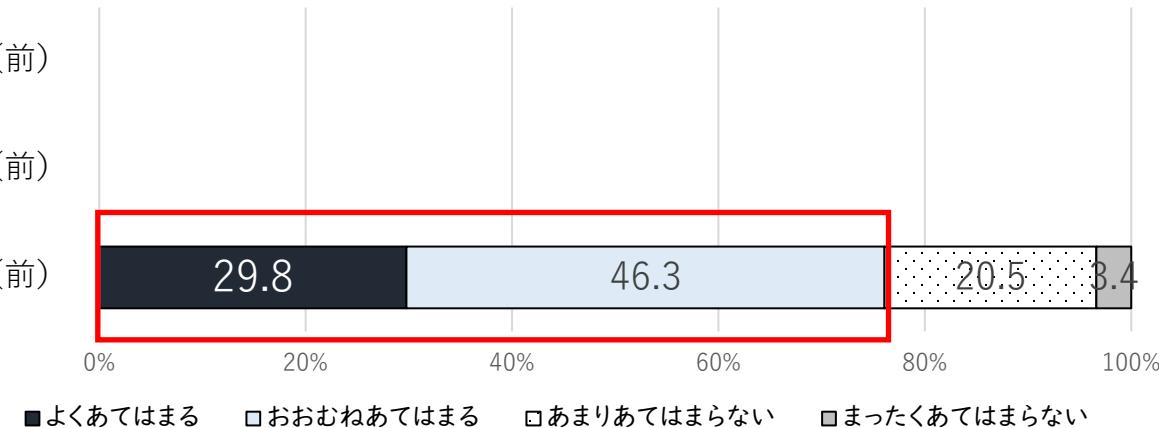
教員は主体性を育てようと工夫 ⇄
生徒の主体性とのギャップ
→89.6% (≤85.8%) 【達成度B】
(生徒に委ねる教育活動も)

時間のデザイン力

R4 (前)

R5 (前)

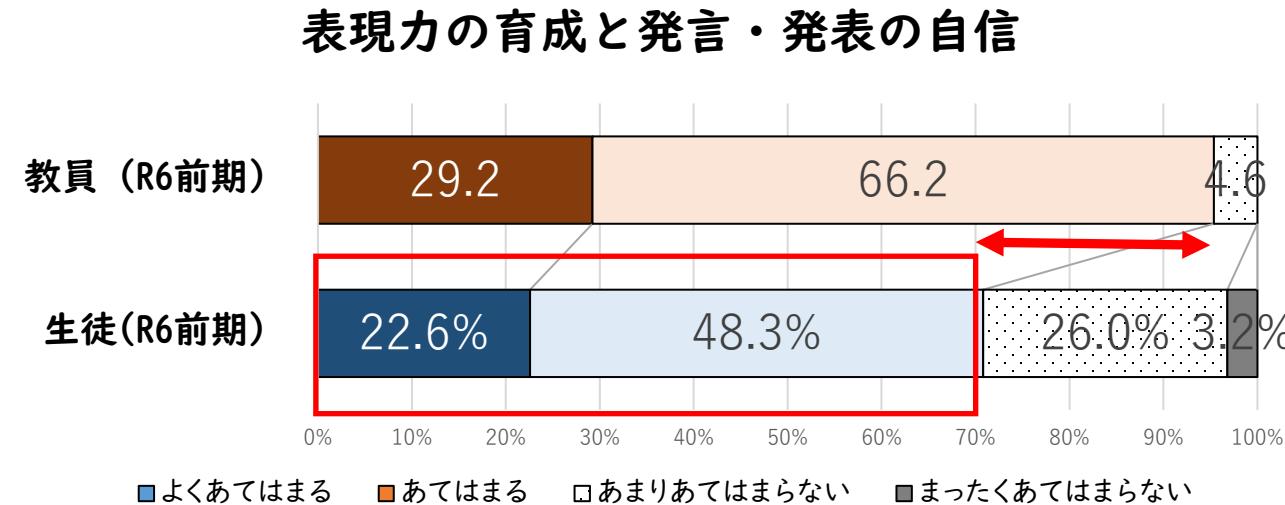
R6 (前)



今年度から45分授業をベースにして“可処分時間”を創出
(主体的・自律的に活動する力を)

(1)学習指導 :

データやデジタル技術を活用して、
グローバル社会で求められる資質・能力を育成する。



教員は表現力を高める工夫 ⇔ 生徒は表現に自信のなさ
【達成度B】 → 87.2% (85.8%)
(心理的安全性と小さな挑戦の機会を)

新しい教育への取組

キャリア教育
模擬裁判選手権



法律と論理的思考を武器に他校と対決

医療系インターンシップ



未来の自分に会いに行く

新しい教育への取組

キャリア教育 からたち塾／あかつきフォーラム



関西大学訪問

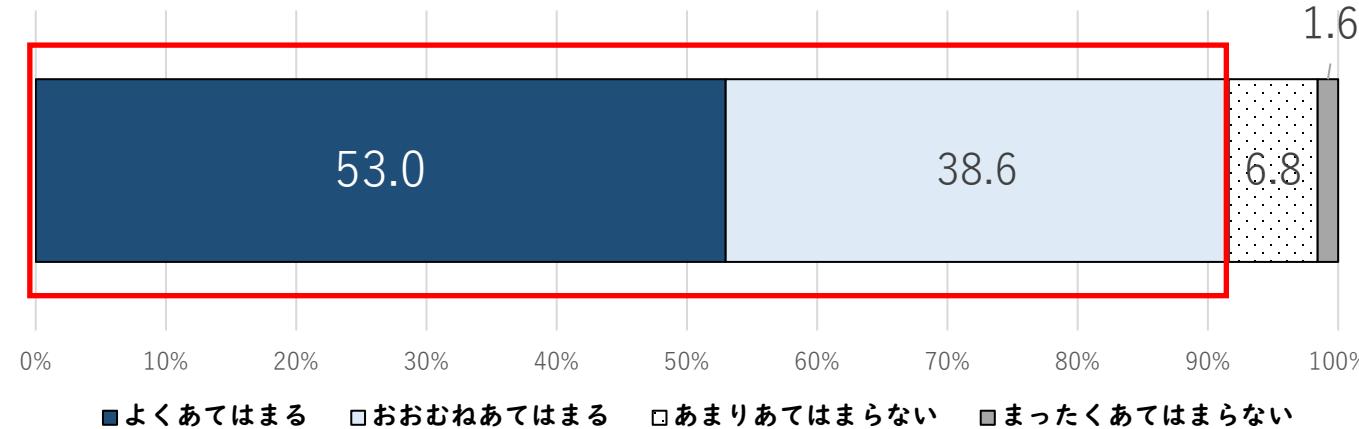


(2)進学指導 :

生徒の**進路意識の成熟を促し、**

高い目標を強い意志をもって実現する生徒を育成する。

キャリア意識（全学年・前期）



前よりもキャリアについて深く考えるようになった
【達成度A】 (↑87.0%)

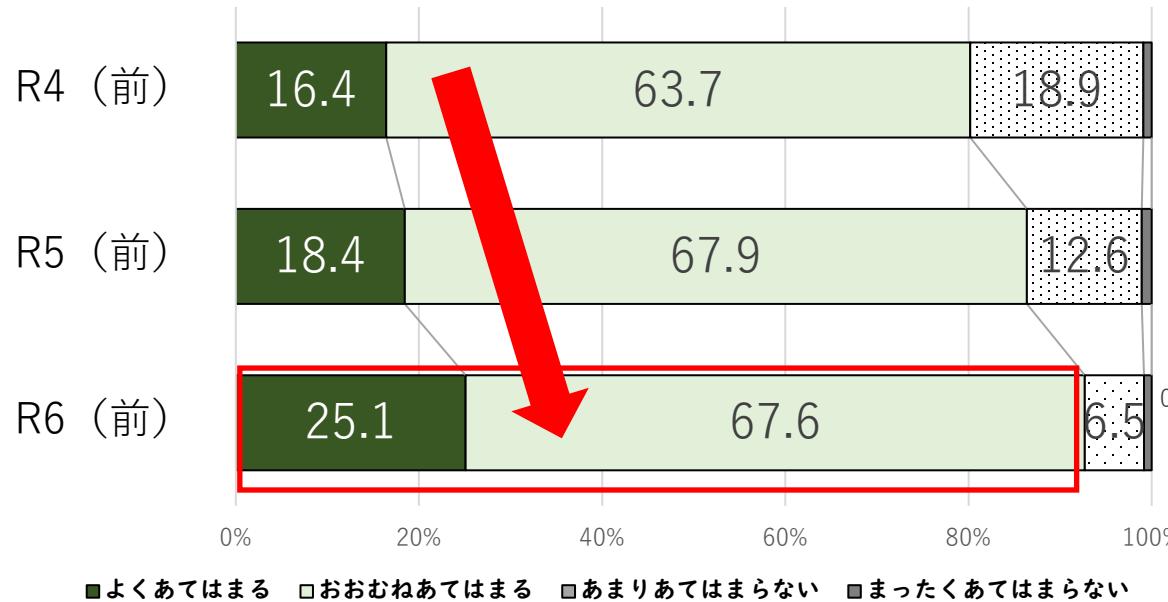
（3年間をトータルデザインしたキャリア教育の効果）

(2)進学指導 :

生徒の進路意識の成熟を促し、

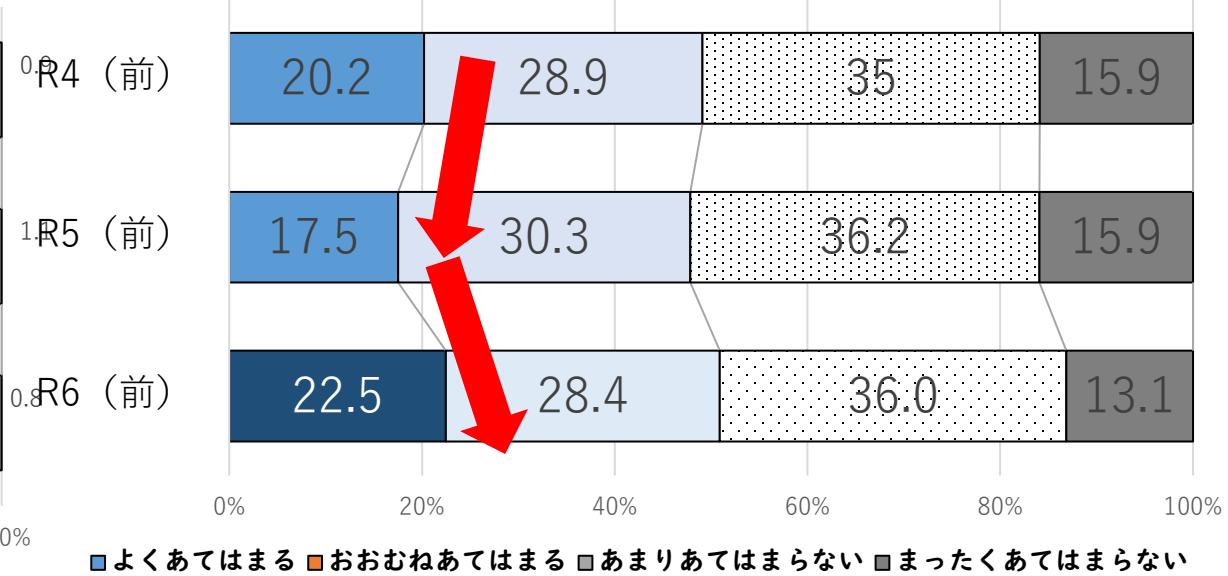
高い目標を強い意志をもって実現する生徒を育成する。

適切な進路情報



92.7% (86.3%) の保護者が進路情報について評価→【達成度A】

平日家庭学習時間の確保



学習時間の減少傾向に歯止め
(課題の増加に頼らない自律した
学習者の育成が急務)

人間力を育む 部活動との両立

石川県では昭和60年以降、
公立高校で初の団体優勝！



二水アクト



社会への貢献を体験する

人間力を育む 二水祭



チームの中で自らの強みを知る

目標達成に向けた段取り力・責任感

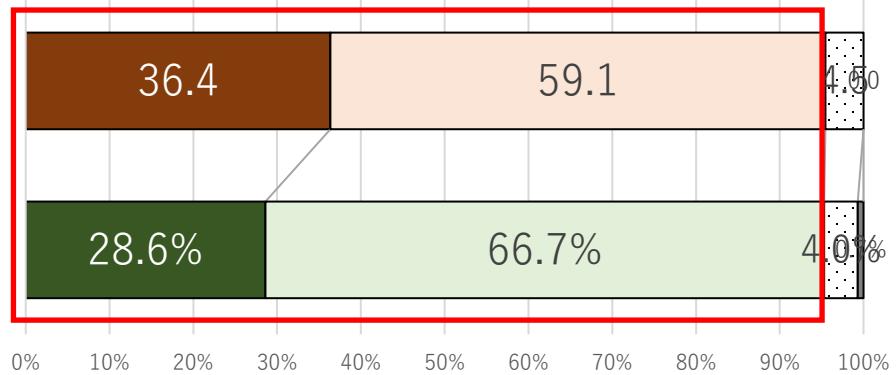
(3)生徒指導・部活動 :

人間形成に主眼をおいた生徒指導を行い、

進学校にふさわしい部活動を追求する

適切な部活動運営

教員 (R6前期)



■よくあてはまる ■あてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

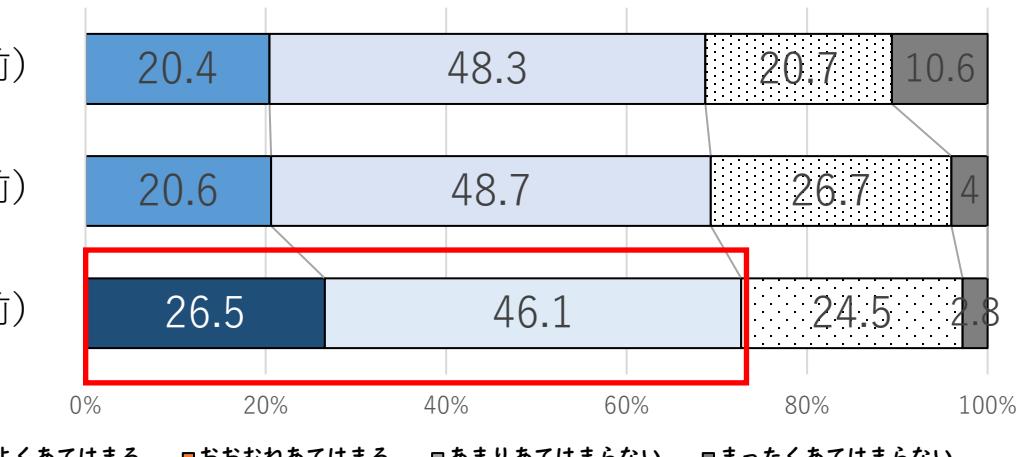
教員の95.5%が適切な運営を意識
→保護者もそれを評価 (95.3%)

勉強と部活の両立

R4 (前)

R5 (前)

R6 (前)



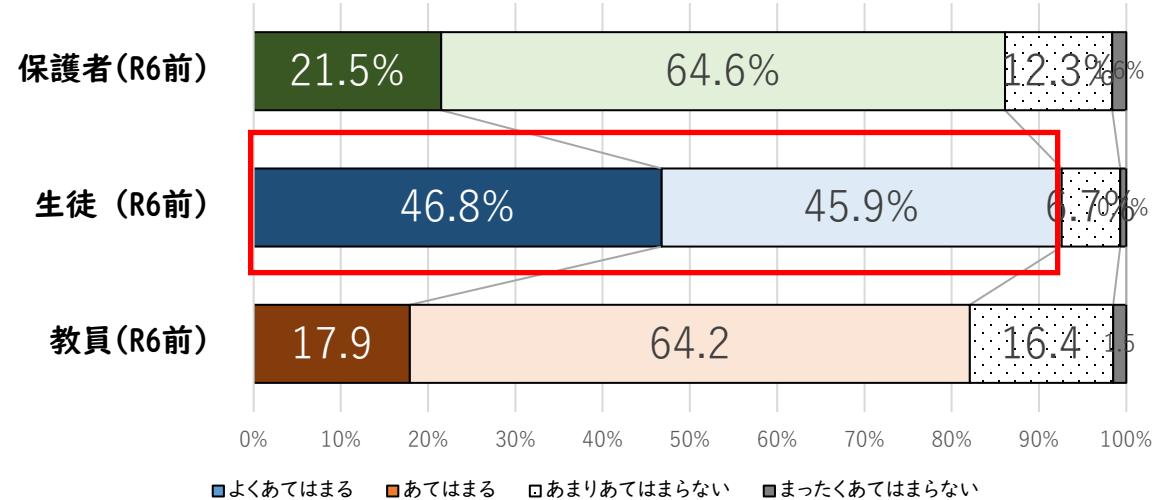
■よくあてはまる ■おおむねあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

部と勉強との両立は、克服すべき
永遠の課題72.6% (69.3%)
→ 【達成度B】

(3)生徒指導・部活動 :

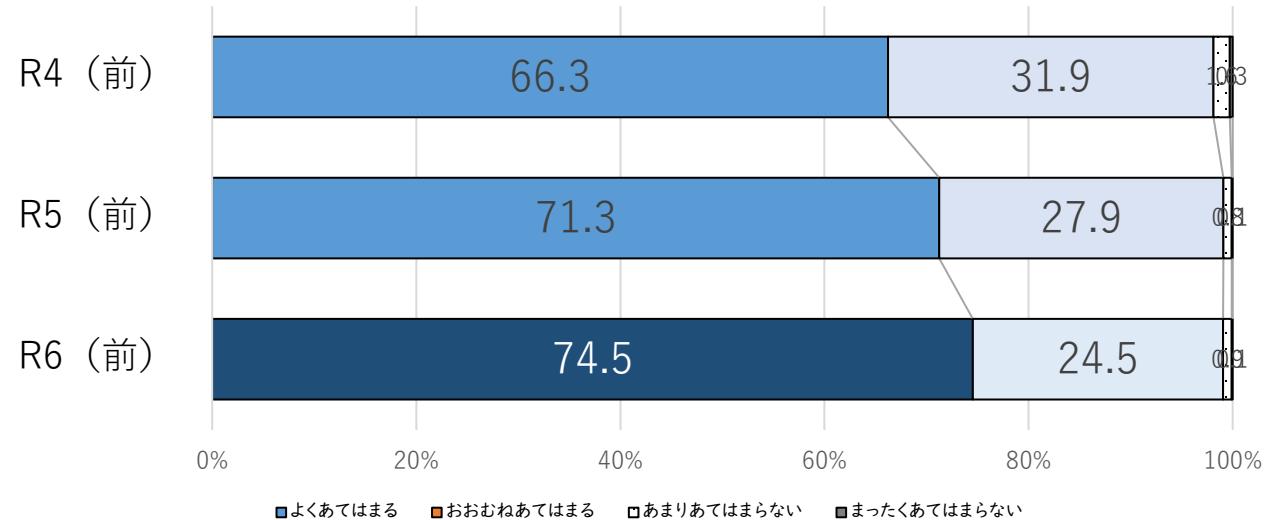
人間形成に主眼をおいた生徒指導を行い、
進学校にふさわしい部活動を追求する

挨拶



挨拶をしていると自覚する生徒
(92.7%) ⇔ もっとできると考える
教員のギャップ → 【達成度A】

交通ルール・マナーの遵守

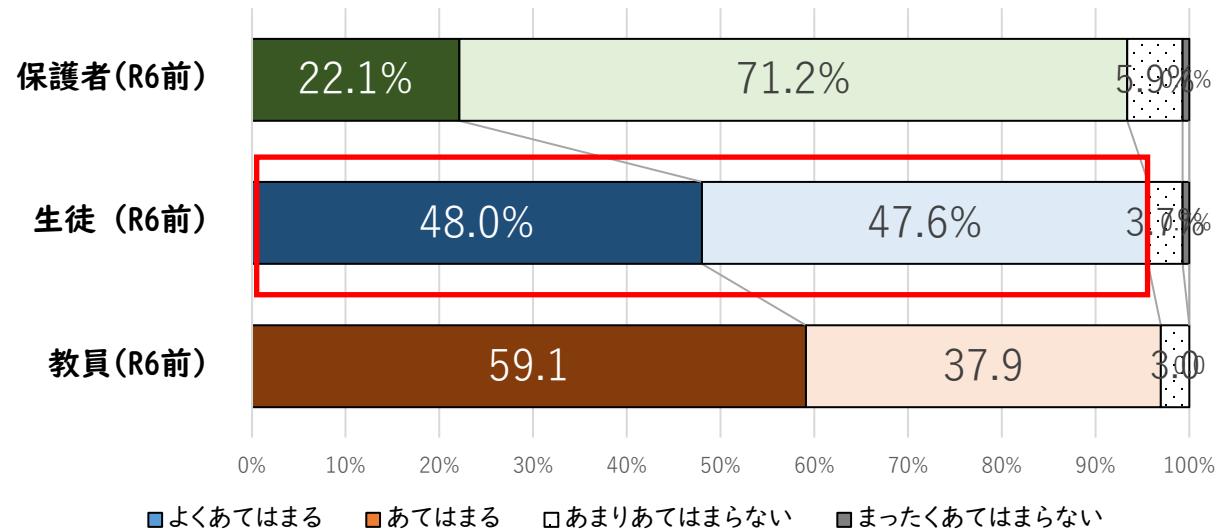


本校生徒の規範意識の高さが見
える項目

(3)生徒指導・部活動 :

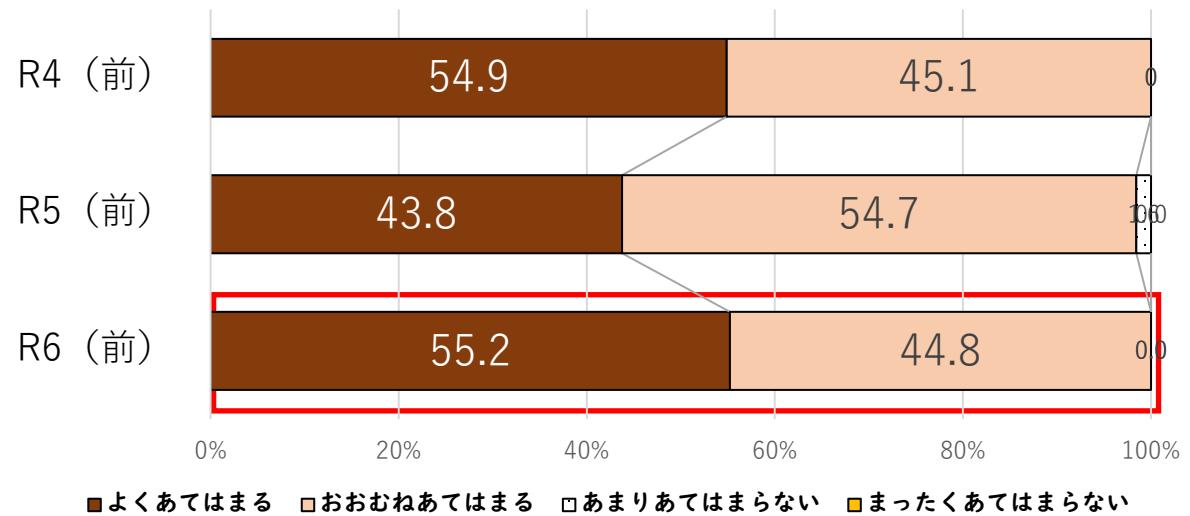
人間形成に主眼をおいた生徒指導を行い、
進学校にふさわしい部活動を追求する

生徒の理解と支援



生徒理解や悩みへの対応については、教員97.0%と生徒95.6%の認識はほぼ一致し高い評価【達成度A】

いじめの予防・早期発見・対策



教員個々人のいじめに対するアンテナの感度は高く、迅速な対応に努めている→100% 【達成度A】

教員の学びと生徒の学びは相似形

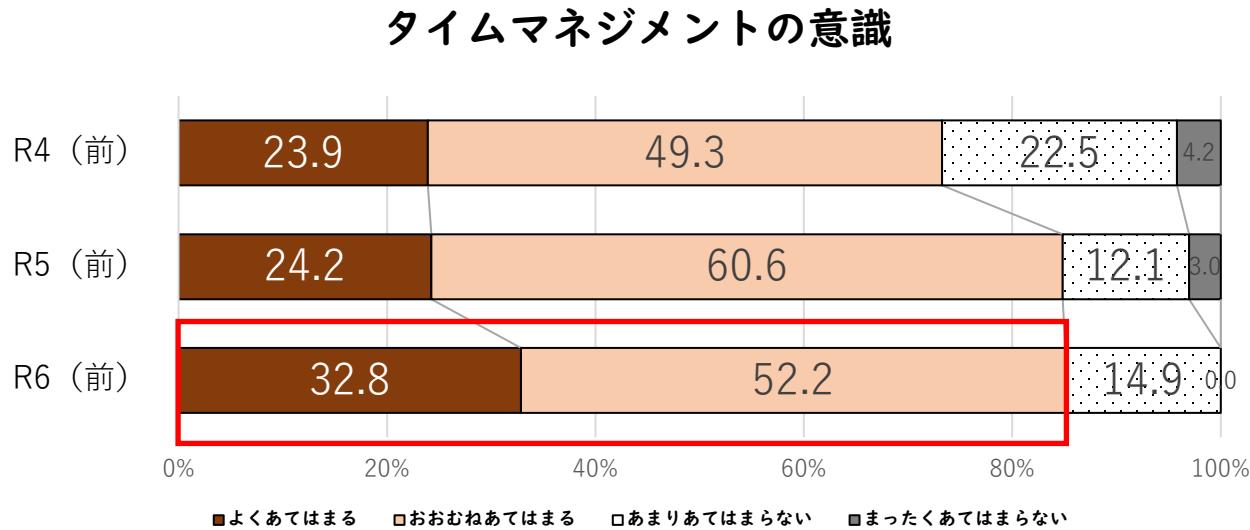
教科を超えた協働



協働的な学び／答えのない問題への挑戦

(4)学校組織 :

業務の効率化を進め、
高い専門性と広い見識に基づいた協働的な教育活動を追求する。



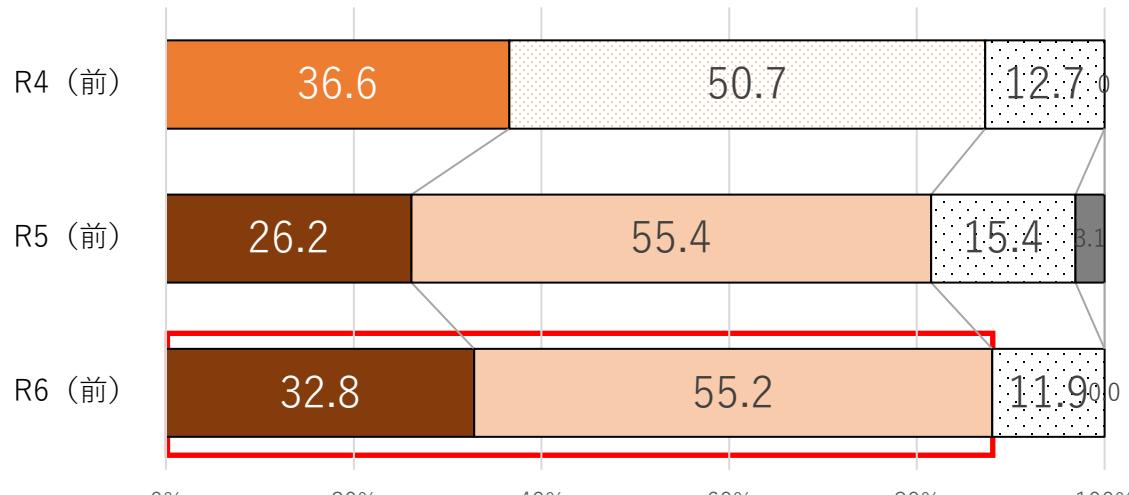
業務の効率化やタイムマネジメントの意識は高い（85%）

→ 【達成度A】

部活動や教材研究に費やす時間は削減に限界

(4)学校組織：
業務の効率化を進め、
高い専門性と広い見識に基づいた協働的な教育活動を追求する。

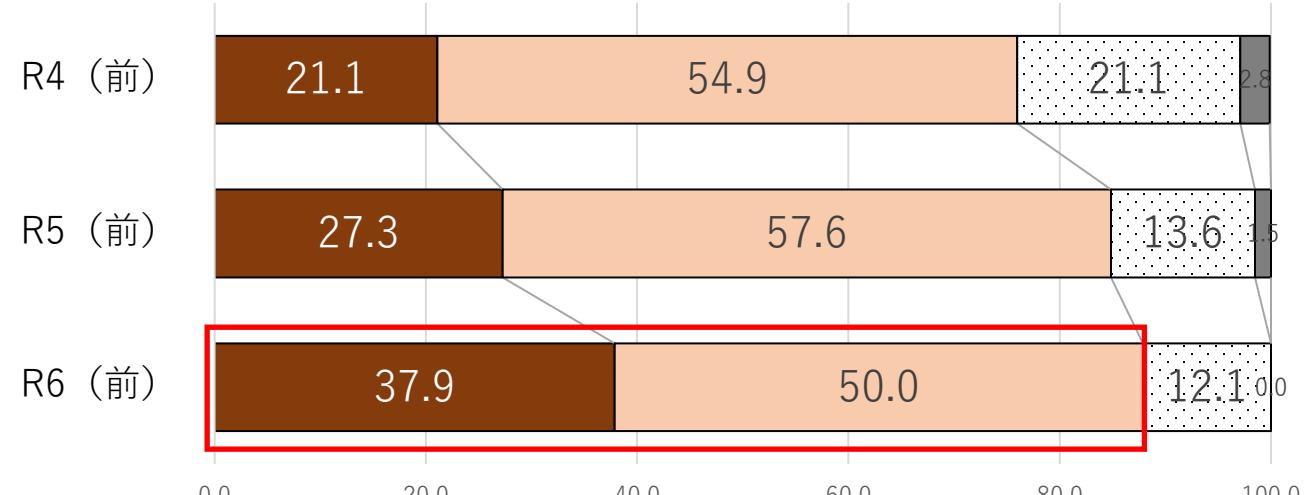
社会変化に対応した教育への挑戦



■よくあてはまる □おおむねあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

社会の変化を意識した新しい教育
への意欲的な挑戦に取り組む教員
が88%→【達成度A】

教職員の協力体制



■よくあてはまる □おおむねあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

生徒に対して協働を求める教員にも
協働が必要（87.9%と過去最高）

21世紀に必要な学校教育を追求

不易と流行

変わらずに大切にすべきこと

社会の変化に対応し挑戦すべきこと

ご清聴ありがとうございました